

LAWSON



マンガ

マチを元気に、 幸せにする ローソンの一日

24時間

マチと共に生きる取り組みを
お伝えします。





お店もマチもキレイに

お客様にいつも喜んでいただけるよう、お店では基本とする3つのことに取り組んでいます。それは「お店の中やお店のまわり(マチ)をきれいにする」「心のこもった対応をする」「お客様がほしいと思う商品をそろえる」ことです。この3つに地道に取り組むことで“みんなと暮らすマチ”を幸せにしたいと考えています。





コミュニケーションでお客さまを笑顔に

サービスに心をこめて

心のこもった対応(接客)などが一定のレベルまで達しており、自分で考えてお店の仕事に取り組むことのできるクルーさん(※)を「リーダークルー」に認定しています。とくにお客さまに気持ちよくお買い物をしていただけるよう、心をこめてお客さまと接するようにしています。

(※)ローソンでは、お店で働く従業員(パートタイマー、アルバイト)をクルーと呼びます。





さいはっけん

ふるさとのおいしさ、再発見!

ローソングループでは、みんなのマチを元氣にするために、その土地でとれた野菜やくだもの、魚、海そうなどを使^{ちいき}って商品をつくっています。地元でとれたものを地元で食べることでその地域を元気にしようという「地産地消(ちさんちしお)」の考え方で、新しいふるさとの味を生み出しています。



そういえば! この辺りの
くだものを使っておいしいもの
をつくったと聞いたわよ?
どれかしら?



はい!
こちらのことですね。

地元のくだものを使って
商品をつくり、「地産地消」に
つながる取り組みを
しているんですよ。



地元ならではの
食文化があるものね!

地元でとれたものを地元で
食べれば、わざわざ商品を
遠くから運ばずに済むから
環境にもいいね。



それならウチは、
庭で作ったトマトをジュースに
して飲んでいるから
毎日が「地産地消」ね♪





オリジナルブランドでお客さまに喜びを

マチカフェでマチあわせ

お客様に「やっぱりローソンがいいよね!」といつていただけるような商品を
つくり、みなさんにお届けしたいと考えています。

いれたてのコーヒーやおいしいお菓子で、「あなたのマチが、どこでも、
カフェになる。」

「MACHI café(マチカフェ)」もその一つです。



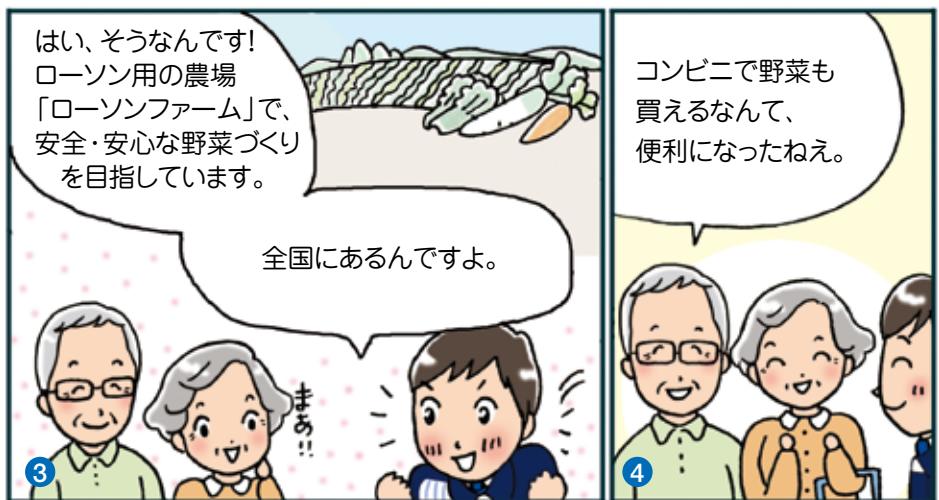


お客さまのニーズに応えるさまざまなお店

発見! いろいろなローソン

マチのお客さまがほしいものに合わせていろいろなお店があります。

かぜ薬や胃腸薬、目薬などのお薬や、できたてのおにぎりやカツサンドを売っているお店もあります。農家のみなさんと協力して、全国にあるローソンファームでつくった安全・安心で新鮮な野菜をたくさん売っているお店もあります。





安全・安心・健康な商品を

こだわりのデザートがそろっています

お客様の「近くで手軽に本格的なデザートが欲しい」という声にお応えするためにつくったデザート、「Uchi Café SWEETS」シリーズ。商品を安心しておいしく召し上がっていただくために、原材料にこだわり、商品をつくる工場やお店では品質を管理するためのいろいろな工夫をしています。



今日のお昼は
これにしようかな。
素材にこだわった
おにぎり!



一緒に
デザートも買って
いこうっと…!
この大福は
大人気
なんですよ!!



そうね！この間、
課長がおすすめだって、
言っていたわね。

①

甘さもカロリーも控えめ、原材料にも
味にもこだわり、ひと手間かけた一品です！
品質もしっかりと管理しています。



そういえば、これって
私にそっくり。
小さくて甘さ
控えめで、
モテモテって
ところ…。



③

④

くわしくはこちらへ

<https://www.lawson.co.jp/lab/uchicafe/>



かんきょう

環境にやさしい「ケータイ運動」

かんきょう 環境を守るため、レジ袋を使わずに自分のバッグをいつも持ち歩く「ケータイバッグ運動」を進めています。持ち運びに便利なケータイバッグ「コンビニecoバッグ」をつくって、みなさんに使っていただけるようにしています。



いらっしゃいませ。



はし マイ箸を持っていますのでいりません。

私も使ってるわ、このコンビニecoバッグ。小さくたためて便利よね。

いつもレジ袋や割り箸の削減にご協力いただき、ありがとうございます。





世界で「ローソンのおでん」

わたし
「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」

この想いを守りながら、ローソンは中国をはじめ、インドネシア、タイ、
フィリピン、ハワイにお店を出しています。

世界のどこでも、マチにあわせたお店をつくり、お客様の期待にお応え
できるようにしています。



課長おすすめの
ローソンのおにぎり、
おいしかったですよ。

それはよかったです。
ところで、紹介したい
人がいるんだ。



初めまして！今日から研修で
お世話になる黄(ホアン)と申
します。お昼ごはんは
ローソンで買ったんですか？



中国のローソンでは
「おでん」をよく買っていた
んです。具が串にささって
いて、食べやすいんですよ。



中国では、ローソンが各地に
あるらしいね。

ま～よろしく頼みますね！





マチの幸せを増やす活動を応援

森を守るために、そして子どもたちのために、

“マチの幸せ”募金箱をレジの横に置いています。

ローソングループの一つひとつのお店とお客さまとで力を合わせて、

マチの幸せを増やす活動を応援しています。





一台で二役をこなす配送車

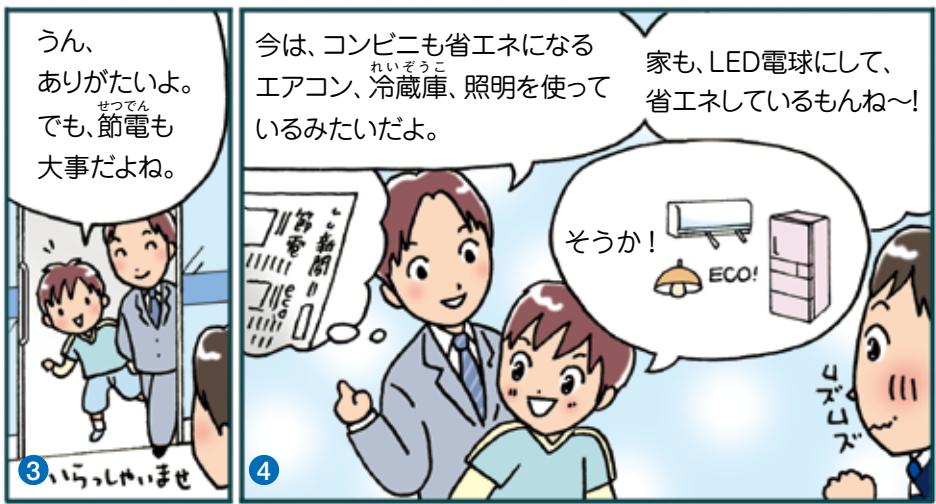
ねんりょう ねんりょう もう きゅうしう
 トラックや車は、燃料(ガソリン・軽油)を燃やしたエネルギーで走り、そのときに
 にさんかたんそ にさんかたんそ たも やくわり ふ
 二酸化炭素(CO₂)を出します。CO₂は太陽であたためられた地球の熱を吸収し生き
 物が生きていくためにちょうどよい気温を保つ役割をしています。しかし、CO₂が増えすぎると熱が余分に残り地球全体の気温が上がってしまいます。ローソンでは、お店に商品を配送するトラックの数を減らすことなどにより燃料を使う量を減らして、CO₂がなるべく出ないようにしています。





せつび 最新の省エネ設備で電気を大切に

電気をつくるためには、たくさんの燃料を燃やすので二酸化炭素(CO₂)がたくさん出ます。そこでローソンのお店では、なるべく少ない電気で動かすことのできる最新のエアコンや冷蔵庫、ほとんど熱を出さずに電気のエネルギーを光に変えることができるLED照明を利用して、電気を大切に使っています。





エネルギーをつくるお店

ローソンは、太陽の光で電気をつくる仕組み「太陽光発電システム」を使って、お店で使う電気の一部を自分でつくるお店をつくっています。
お店の設備で電気をつくることができると、災害などが起きて停電になったときに役に立ったり、電気を節約することができます。



お店で使う電気を減らすためのさまざまな工夫をしているんですよ。照明をLEDにしたり、空調の設定温度を変更したりしています。



さっき、お父さんから聞きました！

さらに、電気もつくっているんですよ！
太陽光パネルで発電した電力をお店でも利用しているんですよ。



え～!
すごい～!

元気長って
います！

うちもなにか
できないかな～。





サトウキビが容器に変身!?

お弁当などの容器は、食品をおいしく衛生的に保存するために役立ちます。
しかし、食べたあとはごみになってしまふため、包装の仕方を見直したり容器の厚みをできるだけうすくしたりして、使う材料をなるべく少なくするようにしています。また、サトウキビなどの植物からできた素材など環境にやさしい材料の容器を積極的に使っています。



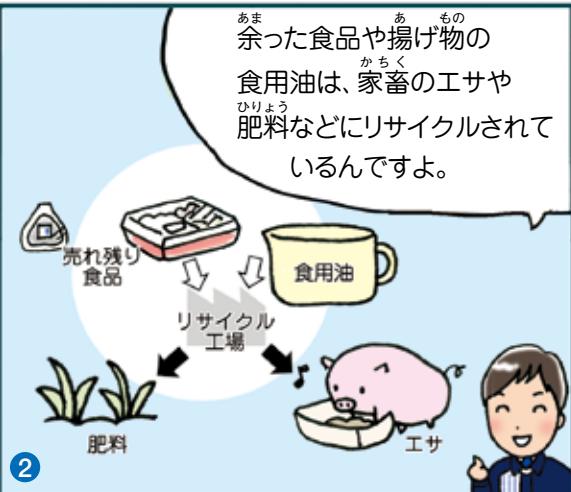


食べ物をムダにしないために

天気や行事、その他いろいろなデータを調べて、どのようなお客様がどのくらい来店してもらえるかを考えて棚に並べる商品の種類や数を決めています。それでも売れ残りの食品が出てしまったら、ブタやニワトリなどの家畜のえさや肥料、燃料などにリサイクルをしています。



お弁当やおにぎりって
余ったらどうなるのかな~。



へ~、
いろいろな
工夫がされて
るんですね。

ムダには
しません。



酒のツマミに
「レチキ」も
買って行くか!

もしかしたら、
お母さん買って
くれてるかもよ!





災害のときもたよれるお店へ

暮らしに必要なものや情報を届ける役目を果たしたいから、大きな災害が起ったときも、できるかぎりお店の営業を続けるようにしています。避難所に食べ物や日用品をお届けしたり、歩いて遠くまで帰るみなさんにトイレをお貸したりしています。





マチのセーフティステーションとして

お店では万が一のための防犯訓練をするほか、日ごろから子どもや女性、ご高齢のみなさんが困ったときにお店にかけ込めるようにしています。いつでも、みなさんに安全・安心と思っていただける“マチのセーフティステーション”でありたい。それがローソングループの想いです。

